

節水システム「スイット」レンタル、定期点検・設置事例集No.3

場所 某スーパーマーケット、惣菜のカラン水

問題点 シンクが広く、水が一部にしか吐水出来ない

対処方法 フレキカーンに取り替える事により、より広範囲に水を使用する事が出来る



写真のように、節水バルブを設置する際に、今までのパイプではなくフレキカーンに変更する事により、より自在に吐水が出来るので、シンクの清掃や普段の使い勝手も格段に向上します。

フレキカーンの一番の問題点は「折れる」事です。

自在に動く分、どうしても通常のパイプに比べて折れやすいのが弱点です。しかしながら、弊社では「レンタル」扱いなので、通常の使用で折れた分には無償で交換しておりますので、ご安心下さい。

このように、弊社の節水システムの点検も、もちろんですが、私共は、節水は当然の事水廻りの環境改善に努めており、いかに厨房で働く方が、気分よく使って頂けるかを最優先して点検・設置を行っております。